

平成28年1月10日号 (第157回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

明けましておめでとうございます。

「阿伎留通信」は本年も皆さまの健康に役立つ情報を発信していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回の阿伎留通信は、

－ 「回復期リハビリテーション病棟」 －



をテーマにリハビリテーション病棟（5階東病棟）川上看護師長よりお話しさせていただきます。

* はじめに *

5階東病棟は、当医療センターのみならず近隣の急性期病院から紹介を頂いた数多くの患者様が、脳血管疾患（脳梗塞・脳出血後）や大腿骨骨折後のリハビリ等を目的として入院されています。毎日のリハビリは勿論・患者様のニーズに合わせて退院後の方向性を早期に考え、社会・家庭復帰を目指して、日常の生活動作（起きる・歩く・食べる・トイレに行く・お風呂に入るなど）など生活に密着したリハビリ訓練を行う病棟です。

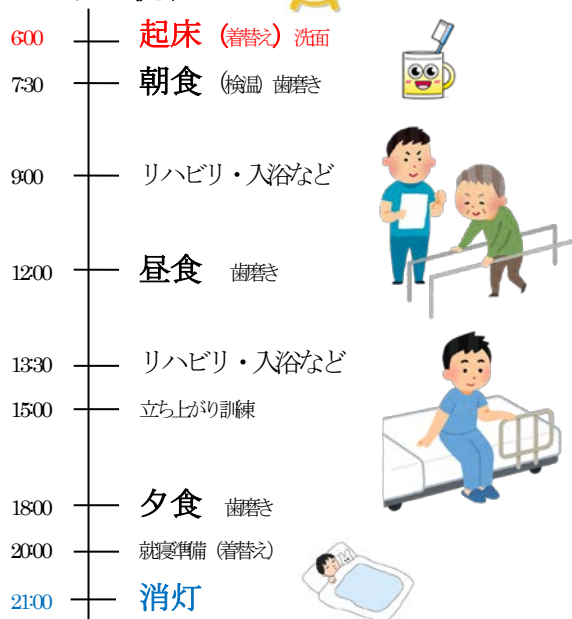
* スタッフ紹介 * 病床数 45床

- ・ 医師2名（リハビリテーション医学会認定専門医1名）
※西多摩領域ではリハビリ専従医2名がいる唯一の病院です。
- ・ 看護師13名（看護師長1名 主任3名）看護助手6名
- ・ 医療ソーシャルワーカー（以下MSW）1名
- ・ リハビリスタッフ PT（理学療法士）15名、
OT（作業療法士）7名、ST（言語聴覚士）3名

* 対象となる方 *

- ① 脳梗塞・脳出血などの脳卒中、大腿骨頸部骨折、
脊髄損傷、頭部外傷などで発症または手術後
「2ヶ月以内」の患者様が対象となります。
- ② 大腿骨、骨盤、股関節または、膝関節の神経、筋
または靭帯損傷後「1ヶ月以内」の患者様が対象
となります。

* 1日の流れ *



* 病棟の特色 *

1. 各患者様の家庭環境に応じた日常生活動作（起きる・歩く・食べる・トイレに行く・お風呂に入る）の習得と向上を目標に医師・看護師・リハビリスタッフ・MSWにて合同カンファレンスを（1回/週）行っています。また、患者様毎の情報交換の場を毎朝、ミニカンファレンスとして話し合いの場を設け、リハビリに繋げています。
2. 入浴は、患者様毎に合わせ見守り・介助をしています。
3. 食事は皆さんで会話を楽しみながら、食堂でいただけます。
4. 患者様の退院後の環境を把握する為に、ご家族に自宅写真を持参して頂き、リハビリ訓練へ取り入れています。必要に応じて家屋訪問（リハビリスタッフ・医師・看護師が訪問）を行い、退院後の住宅改修などの提案もしています。



* 病棟の紹介 *

○食堂

食事は皆さんと談笑しながら、いただけます。



○トイレ

車椅子の出入りにも十分な広さです。麻痺などの障害に応じた手すりが付いています。



○浴室（浴槽にも入ります）



○運転技能訓練室

西多摩地区の病院で唯一、運転シミュレーション装置が設置されています。



阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)